

まちかど

アルバム



砂丘に響け！^{さじん}砂神太鼓

サンドパルとっとり

11月29日(日)、鳥取砂丘情報館サンドパルとっとりで「福部アイデア館まつり」が開催され、会場はアイデア館の加工食品などを買い求める多くの来場者でにぎわいました。祭りのオープニングでは、県東部を拠点に活動する和太鼓グループ「ふくべ砂神太鼓実行委員会」が「合わせ流れ打ち“嵐”」を披露。ときに雷鳴のように荒々しく、ときに斜面を流れる砂のように静かな太鼓の響きに、来場者はしばし聴き入っていました。

健康は正しい姿勢から

鹿野町中央公民館

12月6日(日)、鹿野地区公民館主催の「第26回女性のつどい」が開催されました。「若返り女性塾」と題して、運動指導員の河村郁子^{かむらいくこ}さんを講師に招いた今回の集いには、地区内の女性65人が参加。マッサージや肩こり予防運動などを教わりました。河村さんが「身体を矯正し、正しい姿勢を保つことで、代謝や筋力が増し、若々しい身体を保てます」と話すと、参加者はうなずきながら自分の姿勢を確認していました。



コシ・香りとも絶品の手打ちそば

湯谷荘

「西郷地区特産物をつくる会」が、一般の人にもソバの種まきから収穫、そば打ちまでを体験してもらおうと設けた「そばオーナー」制度。その体験メニューの一つ「そば打ち体験」が11月29日(日)、河原町の湯谷荘で行われました。市内外から参加した3組16人のオーナーが、つくる会の指導を受けながら、手でこねた生地をめん棒で伸ばしていくなど、一連の作業を体験。最後は、自分たちで打ったそばの味覚を楽しみ、交流を深めました。

甲羅を投げてカニをもらおう

鳥取港

11月28日(土)、山陰の冬の味覚の王様、松葉ガニをPRするイベント「鳥取かにフェスタ2009」が鳥取港で開催されました。メイン会場の県漁協荷捌所には、市価より安く松葉ガニが買える販売所や、先着1200人にカニ汁が振る舞われるコーナーが設けられ、大勢の家族連れらでにぎわいました。なかでも、カニの甲羅を投げて親ガニがもらえるゲームコーナーは大人気で、参加者はカニの甲羅をまっすぐ飛ばそうと懸命になっていました。





「コーラスしてる」クリスマスソングを歌う

佐治小学校

「佐治町にコーラスグループを！」との町民の熱意によって結成された「コーラスしてる」。名称は「太陽のように、いつも明るく前向きに」という思いを込めて付けられたものです。保本寛子さん（用瀬町安蔵）の指導の下、歌うことの楽しさを感じながら、月に2回練習しています。12月6日（日）には、佐治小学校の発表会でクリスマスソングを披露。「ジングルベル」などおなじみの曲を、元気な歌声に乗せて届けました。

落語で学ぶ人権の大切さ

青谷町総合支所

12月6日（日）、「第21回青谷町人にやさしいまちづくり大会」が青谷町総合支所の多目的ホールで開催され、落語家の桂こけ枝さんが「こけ枝のほのぼの人権噺」というテーマで講演を行いました。ほのぼのとした語り口のこけ枝さんが、最後に「人生、ひとりでは生きていけない。人それぞれの得意、不得意をお互い認め合い、支え合い、補い合い、笑顔で健康に生きていこう」と締めくくると、来場者からは惜しみない拍手が送られました。



もちについて豊作祝う

用瀬小学校

12月4日（金）、用瀬小学校で「収穫祭」が行なわれ、児童と地元住民がもちつきで豊作を祝いました。使用したのは、地域交流学習の一環で、児童が田植えから収穫までを行ったもち米。地元のみなさんにつき方の指導を受けながら、臼の中のもちめがけて、杵を振り下ろしました。最後の児童がつき終わるころに、ようやくふっくらとしたもちが完成。きな粉をまぶして、みんなでおいしく食べました。

うまいもん持ってよらいな

逢坂小学校

11月28日（土）、逢坂小学校で創立100周年の記念式典が開催されました。催しの一つ、逢坂むらづくり協議会が中心となって企画した昼食会「うまいもん持ってよらいな」（「おいしいものを持ち寄って食べましょう」の意）では、その言葉どおり逢坂地区の全集落がそれぞれ自慢の手作りメニューを持ち寄り参加。地元食材の豊かさ、おいしさを再認識する楽しいイベントとなりました。



健康の大切さを再認識

市民会館

11月22日（日）、市民会館で「第26回鳥取市民健康ひろば」が開催されました。当日は、竹内市長、松浦正敬松江市長、市民代表による健康に関するシンポジウムや、テレビ「水戸黄門」の「うっかり八兵衛」役で有名な高橋元太郎さんの講演が行われたほか、血圧測定などの各種検診、健康に関する相談のコーナーが開設され、大勢の市民が訪れました。